



I

今、みなさんの財布の中に、1円玉は入っていますか？その1円玉は、落としても拾おうとしたりしません。家の隅に転がっていたり、落ちても見て見ぬフリをしていませんか？1円とはそんな存在です。ところがそんな1円でも、日本国民×1円を考えてみましょう。どうでしょう、約1億2000万円と大きなお金になります。そこで高校生から64歳までの人を対象にすると、8600万人なり、同じように計算するとその金額は、8600万円になります。税金などは、普通20歳からですが、この機会に私たち高校生にも政治に関心を持つてもらえたらしいと思い高校生にしました。税金は、どんなところで使われているか解りません。それに税金は、国民の意見を繁栄しているとも思えません。ですが、これは税金とは違います。1円を出した国民全員の意見が繁栄され、わずかなお金でも国民のために最も大切なモノに出資される新しい革命を起こしたいのです。





それぞれ人口別に1円を集めるとなればこのような表になりました。

	人口	×1円
総人口	1250000000人	1250000000円
0~15歳	18000000人	18000000円
65歳以上	21000000人	21000000円
16~64歳	860000000人	860000000円

POINT!



1円を何ヶ月かに分けて国民から集めるとなればこのような表になりました。

	860000000×1
1ヶ月	8600万円
1ヶ月×半年	4億8千万
1ヶ月×1年	9億8千万

16歳といえば、高校1年生で、だいたいの人がおこづかいを貢っているし、この機会に政治にも関心を持ってもらいため。



“ちりも積もれば山となる”
とはこの革命のためにあるようなことわざです。





* 1円を集めるときにアンケートを取る。
アンケートの内容は、自分たち（国民）にとって1番大切だと思うものに使う。このアンケートは、1円を出してくれた人あらだけで行い、アンケート結果は、ニュースやラジオなどで報道する。

POINT!

税金は、何に使うかわからないまま集め国民に不快を与えるしまうが、これは自分が今して欲しい事をアンケートを取ることで趣向を持たせ、何に使うか明確にしておけば不快になることもない。

今治工業高校3年生全員に聞きました。

アンケート結果

1建物



1位 ホームレスの施設

2位 公園

3位 図書館

2イベント



1位 お祭りなど

2位 花火大会

3位 パレード

3その他



1位 赤十字への寄付

2位 植林

3位 国に寄付



まとめ



1人1円出すことは負担ではありません。ですが、その少ないお金でも何に使われるかわからないのに出したいと思う人はいないでしょう。でも、国民1人1人の気持ちを1つにするいい機会だと思うのです。そして、そのわずかなお金で革命を起こすことを考えました。やりがいのあるテーマでお金のありがたみを知ることができました。

9億8000万円というお金で実際にどんなものに使うことができるか主なものをあげてみました。高齢者や障害者の人たちのための入浴介護バス約300万相当が330台買うことができます。

東南アフリカなどの人々にワクチンを送るのに1人10円と見て、9億8000万あれば、9万8000人に送れます。その他にも、温泉や娯楽施設などにも当することができます。この中から1つでも始めてみませんか？



（足）

